

南部解放記念講演会

今年はベトナム南部解放から48年。この間大小問わず幾多の戦争がありましたが、昨年来続くウクライナへの侵略戦争でも、多くの障害者を生み出しているでしょう。ベトナムでの戦争被害での障害者はどうなっているのでしょうか？いま改めて戦争の大きな傷跡としての障害者の問題を考えたいと思います。下記要領で講演会を開きますのでご参加ください。

日時 5月6日(土) 13時30分～ (受付開始は13時)

会場 ドーンセンター (京阪電車、大阪メトロ、天満橋下車)

講演 「ベトナム戦争のつめあとと
地域リハビリテーションの支援」

講師 尾崎 望 氏

略歴

1954年生まれ。小児科医、京都民医連会長。京都大学医学部卒業。かどの三条こども診療所所長。専門は小児科地域医療。著書に「ベトナムの障害者にリハビリテーションを」(2006年、文理閣)、「ベトとドクが教えてくれたもの」(2009年、クリエイツかもがわ)、「ベトとドクと日本の絆」(2010年、新日本出版社)など(それぞれ共著)



※写真と略歴はHPからの引用です



戦争は人間をどう傷つけるか、希望はどこにあるか

ベト・ドクと考える世界平和

尾崎望・藤本文朗著
新日本出版社刊

今あえて戦争と障がい者について

100万人以上の犠牲者を出したベトナム戦争、日本は侵略したアメリカを支援しました。枯葉剤が人体に深刻な影響を今も与えています。結合双生児として生まれたドクさんの思い、枯葉剤被害の医学的実証や被害者の生活とともに、その教訓を未来に生かす日本の平和教育を紹介します。安保法制下の今こそ考えたいテーマです。

主催

日本ベトナム友好協会大阪府連合会 06-6768-4868
E-mail yukokyokai-vn@outlook.jp.